



横浜市はどんな取組をしているのかな?

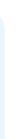
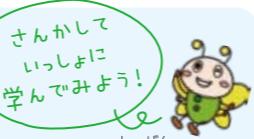
地球温暖化対策につながる エネルギーの取組をすすめています

燃料電池自動車を広めたり、風の力で電気をつくりたいしているよ。



生物多様性を守る 取組をすすめています

図書館や動物園でイベントを開いたり、自然のこと教えてくれる先生を紹介したりしているよ。



横浜の環境

こども版



かんきょう

このリーフレットは、みんなに知ってもらいたい環境のことを

わかりやすくまとめたものだよ。

かんきょう
いつしょに横浜の環境について考えてみよう!

横浜市は
どんな取組を
しているのかな?

緑を守り、育てています

まちの緑は、たくさんの役割をもっているよ!



大切な緑を守るために「横浜みどりアップ計画」で森や農地を守ったり、まちの緑をつくったりしているよ。



まちの緑は
こんなにあるよ!
さがして
みてね!

「はま菜ちゃん」が目じるしです
横浜でつくられた野菜や果物には、「はま菜ちゃん」マークがついています。

24時間365日

空や川・海の状況を調べています

PM2.5などの空気がよごれる原因の物質や、川や海の水質を検査しています。検査した結果は、携帯電話やパソコンで見ることができるよ。

夏に光化学スモッグ注意報が出た時には、横浜市から携帯電話にメールでお知らせを送っているから、登録して使ってみてね。

登録はこちらから

entry-yokohama@bousai-mail.jp



空メールを送り、横浜市防災情報Eメールに登録することでメールを受け取ることができます。

「食品ロス」をへらす 取組をすすめています

「食品ロス」っていうのは本当は食べられるのに、すぐされている食べ物のことだよ。

「食品ロス」をへらすため、「食べ物をのこさないよう」、「買い物に行く前におうちの人と冷蔵庫の中を確認しよう」とよびかけてているよ。



登録はこちらから

entry-yokohama@bousai-mail.jp



空メールを送り、横浜市防災情報Eメールに登録することでメールを受け取ることができます。

よこ はま かん きょう

横浜の環境

かんきょう
このリーフレットは、みんなに知ってもらいたい環境のことを

わかりやすくまとめたものだよ。

かんきょう
いつしょに横浜の環境について考えてみよう!

かんきょう
環境問題って
なんだろう?



かんきょう
昔と今で
かわったのかな?



横浜市は
どんな取組を
しているのかな?



このリーフレットは環境保全基金にいただいた寄附を活用して作成しています。
環境保全基金は、横浜市への「ふるさと納税」のひとつです。
環境を守る活動やこどもたちの環境学習の取組と一緒に応援しませんか?



1
かんきょう
環境を守る! こどもたちの取組

こども「エコ活。」大作戦!

夏休みに市立小学校のみんなが、省エネ、3R、生物多様性をテーマにした「エコライフチェックシート」を使って環境行動に取り組んでいるよ。この取組を市内の多くの会社が応援し、寄附をしてくれているんだ。
あつまつた寄附金は日本や海外の環境を守る活動に役立てているよ。

取り組んだ小学生 ▶ 38,383人

取り組んだ小学校 ▶ 226校

応援してくれた会社 ▶ 62社・団体

あつまつた寄附金 ▶ 126万円

2016年の
取組結果
ふるさと
寄附金の
使いみち

フィリピン ミンダナオ島
の環境保全活動と宮城県
の海岸林再生プロジェクト
に使われています。



くわしくは

こども「エコ活。」大作戦!

検索





環境問題ってなんだろう?

地球がどんどん
あつまる!?

地球温暖化

石油や石炭を燃やして電気をつくったり、ガソリンなどの燃料を使って車や飛行機を動かしたりすることで、二酸化炭素などの“温室効果ガス”がふえて、地球全体の平均気温が上がっていくことだよ。

生き物の種類が
へっている!?

生物多様性の危機

食べ物や服、水や空気など、わたしたちの生活は“生物多様性”的めぐみにささえられているんだよ。

でも、人間が道路や家を作るために生き物のすみかをこわしたり、外来種や毒性をもつ化学物質を持ちこんだりしたことによって、生物多様性が失われつつあるんだ。

生物多様性って?

- たくさんの生き物すべてがつながりあい、
- ささえあってくらしていること

2

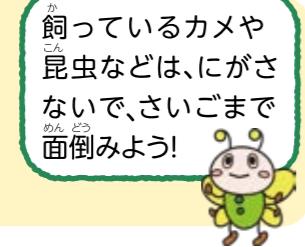
どんなことができるか考えてみよう!

二酸化炭素をださないように、電気のムダづかいに気をつけよう!

- 部屋やろうかの電気はこまめに消す
- テレビは見るときだけつける
- 暑さや寒さはエアコンにたよらず、服などで調節する
- 冷蔵庫にものをつめこまず、あけっぱなしにしない
- 使っていない家電製品は、コンセントをぬいたり、電源を切る

自然や生き物とふれあおう!

- 公園や森などで遊んで生き物を見つける
- 動物園に行って生き物を観察する



「3R」でなるべくごみをださないようにしよう!

- ごみと資源物を分別する
- カバンやペットボトル飲料を買わずにマイボトルを持ち歩く
- 遊ばないおもちゃやゲームソフトは、ほしい人にゆずる
- マイバッグを使い、お店で箱・ふくろなどをもらわない

3Rって? 「3R」とは、ごみ減量のキーワードである3つのRを指す言葉だよ。「もったいない」という気持ちを大切に、できることからやっていこう!!

Rその①
リデュース
(Reduce)
ごみそのものを
へらす

Rその②
リユース
(Reuse)
何回も
くり返し使う

Rその③
リサイクル
(Recycle)
資源物を新製品に
作りかえる



昔と今でかわったのかな?

1950年代の横浜は、人口が急激にふえました。人々が生活するために、田畠や山林は切りくずされ、家やビルがたちならびました。海もうめたてられ、海ぞいに工場がたてられました。

昔
1950~60年代の横浜



横浜が発展するにつれて、家や工場で使われた水がたくさん川や海に流れこみました。川や海はだんだんとよごれ、魚つりや水遊びができなくなりました。また、工場からのけむりにふくまれる“汚染物質”で空気がよごれ、人の健康や生活環境に関する被害がおこりました。これが「公害」です。



今
2000年代の横浜



みなとみらい21地区



平戸永谷川

公害を乗りこえるために、横浜市では、市民、工場、市役所が力をあわせて対策をおこない、何年もかけてきれいな空や川、海を取りもどしてきました。これから先も、いまの環境を守り、もっとよくするためには、一人ひとりができるこに取り組むことがとても大切です。

まめ知識

- よごれた川や海がきれいになってきたのは“下水道”が広まったおかげだよ。
- 昔はトイレの水やよごれた水をそのまま川や海に流していたけど、今は下水管で水再生センターに集めて、きれいにしてから川や海に流しているんだ。



3

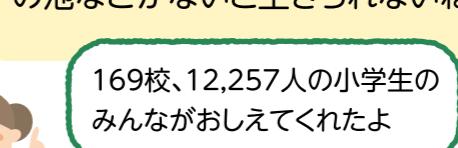
こども「いきいき」生き物調査

こども「いきいき」生き物調査は、市内の小学生が参加する生き物の調査だよ。夏休みに、家や学校の近くで見つけた生き物を小学生のみんなが教えてくれているんだ。みんなのすんでいるところではどんな生き物が見られるかな?



2015年の
調査結果

169校、12,257人の小学生の
みんながおしゃべくれたよ



乾いたところにも見られるヒキガエルは、市内のいろいろなところで見つかったよ。でもこども(おたまじやくし)のときは水の中にいるので、学校や公園、お庭の池などがないと生きられないね。



注) 色の濃淡は、小学校ごとの確認率をもとに統計的に計算、作成したものです。一部の回答などは解析対象外としました。